



ミンガラバー

認定 NPO 法人
**日本・ミャンマー
 医療人育成支援協会**
 〒700-0023
 岡山県岡山市北区駅前町2丁目4番23号
 TEL:086-224-0102
 URL:http://www.mjcp.or.jp

手術指導やシンポ計画 総会、事業計画を承認



事業計画などの説明を聞く協会員ら＝岡山市中区のホテル

協会の第7回総会が7月28日夕、岡山市中区浜の岡山プラザホテルであり、2011年度の事業報告と収支決算、12年度の事業計画と収支決算がいずれも承認された。同日現在で会員435人、法人などの賛助会員12、役員20人。
 12年度の主な事業計画は次の通り。

2012年度収支予算

〔収入の部〕

費目	予算(円)	説明
繰越金	2,710,326	前年度より繰越
会費・入会金	2,150,000	会費250人、入会金50人 賛助会費10人、
寄付金	1,000,000	役員運営協力金ほか寄付金
補助金	500,000	岡山県補助金
雑収入	93,674	利子、広告料ほか
合計	6,454,000	

〔支出の部〕

費目	予算(円)	説明
事業費	2,500,000	ミャンマー医療人の研修等 1,500,000 公的機関と協力して支援 400,000 ミャンマーでの医療実践を支援 200,000 組織活動の公表 400,000
会議費	50,000	総会懇親会等
光熱水費	160,000	研修医宿舎電気、ガス、水道代
通信運搬費	170,000	機関紙送費、電話代等
消耗品費	30,000	事務用品等
印刷費	30,000	総会資料等印刷費
負担金支出	5,000	岡山県国際団体協議会等負担金
支払手数料	25,000	郵便振替手数料等
借入金返済	1,440,000	借入金の返済
諸謝金	50,000	総会時のアトラクション等
予備費	1,994,000	
合計	6,454,000	

●ミャンマーの医療関係者を招いての研修、研究支援を引き続き実施。向こう1年間に、4人を予定している。

●岡山大学とミャンマー保健省管轄の医療福祉系大学との間で大学間協定が結ばれて10年になる。この協定に基づき、現地で形成

外科、脊椎外科手術を指導。食中毒の原因となるロタウイルスのワクチン試験研究や、遺伝性貧血サラセミアの遺伝子診断講習を行うい、井戸水ヒ素対策に取り組む。ミャンマー医学研究会のシンポジウムも計画。さらに、岡山大学を拠点に、ミャンマーの救急・災害医

療体制の強化についての計画の策定や、この分野の人材育成支援を進める。

●協会の招きでこれまでに研修したミャンマー医師が帰国後、責任者になっていくヤンゴンの「肝炎クリニック」、ヤンゴンとネピドーの「子宮がん検診センター」の支援を続ける。



躍動感あふれる「うらじやおどり」

「うらじやおどり」に盛り上がる 懇親会に50人、交流深める

総会後、懇親会が開かれ、約50人が参加して交流を深めた。会場を盛り上げたのは、岡山に伝わる温羅(うら)伝説にちなむ「うらじやおどり」。数ある踊り連のなかでも、コンテストで何度も最高賞をとっている「俄嘉屋(にわかや)」(山本たくお代表)のグループが、色鮮やかな衣装でダイナミックな踊りを次々披露した。会員の中には踊りの輪に入って、見様見真似で踊りだす姿もみられた。

活動の公益性を評価

皆さん、まず右上をご覧ください。ミンガラバーの題字の右側に「認定NPO」とあります。私たちの日本・ミャンマー医療人育成支援協会が、これまでのNPOから認定NPOに変わったのです。たった2文字がたった1文字ですが、これによって協会への寄付や会費が税制上、控除の対象となる優遇措置を受けられます。協会にとっても寄付などを呼びかけやすくなり、より一層、活動を充実させることができるようになったのです。

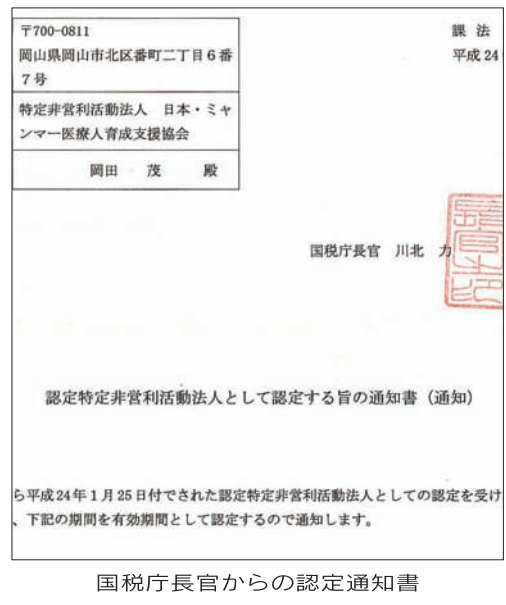
協会、認定NPOに

協会の設立から6年。ことし6月1日付で、国税庁長官から認定NPOが認定された。認定には、NPOとしての運営や事業が適正かどうかに加えて、活動が公益の増進に役立つしているかなどの一定の要件を満たさなければならぬ。

ミャンマーから若い医療関係者を招いての研修、日本から医師や研究者らを派遣しての指導、会員らの

寄付によるミャンマーでの診療所開設...協会が認定NPOになったことは、これら数々の活動が高く評価された証明といつてよい。岡山市に本拠を置くN

POは、ことし2月現在、同市の調査では209団体。このうち認定NPOになっているのは、自然エネルギー普及と心のケアに取り組む2団体だけだ。



個人の寄付 所得控除か税額控除 法人の寄付 損金算入限度額の拡大

除と税額控除の有利な方を選ぶことができる。所得控除は寄付金から2千円を引いた金額を総所得金額から控除、税額控除は寄付金から2千円を引いた金額の40%を所得税額から控除できる。

②法人の寄付は損金算入限度額の枠が拡大される。

③相続人が相続した財産を寄付した場合、寄付分は相続税が非課税になる。詳しくは国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)を参照。または最寄りの税務署などに問い合わせればよい。

- ①個人の寄付は所得控

将来は環境汚染問題を

ヤンゴンにある国立医学研究局(DMR)の研究者、イェ・ヘイン・テツ医師(28)が協会の招きで来日し、9月上旬までの2か月半、岡山大学医学部などで毒物学の研究、特にヒ素の検出

研修中です

イェ・ヘイン・テツさん



方法について学んでいる。ミャンマーはかつて日本などの先進国によって掘られた浅井戸が原因で、ヒ素汚染が広がっているが、対策は進んでいない。同医師はヒ素対策の研究に関わっており、

去来秋と今年3月、日本からヒ素除去装置を持ち込んだ協会の東谷健一郎さんにも同行し、設置作業などに加わった。岡山大学医学部法医学教室(宮智智教授)でガスクロマトグラフィーなどの分析機器の扱いや毒物検出方法を研修。8月末からは岡山理科大で水汚染について勉強し、さらに東谷さんが勤める大阪の浄水器メーカーにも出かける。日本の研究環境は素晴らしいし、研究者は熱心だと同医師。自身の将来については「水や大気などの環境汚染問題に取り組みたい」と語っている。

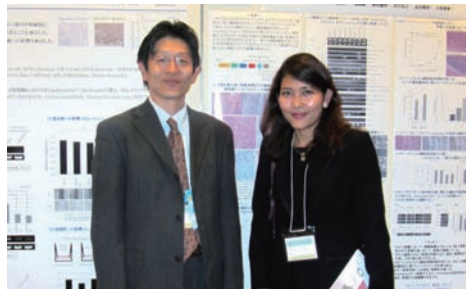
研修しました

モ・チダ・トゥウエさん

今春、岡山で研修したミャンマーの歯科医師モ・チダ・トゥウエさん(41)から協会に次のような礼状が届きました。

◇ ◇

私は歯科医師であり、ヤンゴン歯科大学の講師を務めています。まず最初にNPOの皆さまに岡山で研修する機会をつくって下さいましたことを感謝申



し上げます。今回は日本で勉強する初めての経験でしたが、岡山で皆さまはもろ手を挙げて私を歓迎して下さい、私の手助けをして下さいました。10週間の滞在の間には岡

機会があればまた岡山へ

山プラザホテルでNPOの会員の皆さまとお食事をする機会にも恵まれました。

私は岡山大学歯学部口腔病理学教室で長塚仁教授の指導の下に分子病理学の勉強をしました。私は歯学博士号を取りたいと思っており、今回の研修はその勉強にも役立つに違いありません。

日本の文化や日本人がどの様に生活しているかなどについても触れる機会を得ました。そのうえ、日本の美しい春の季節も経指導の長塚教授(左)と並んで

協会だより



協会支援の自販機の第1号 福山市御幸町

活動支援の自販機 お目見え

コカ・コーラと協定 設置場所の提供を

協会の活動を支援するコカ・コーラの自動販売機が登場。福山市御幸町、あかね動物病院▽福山市神辺町、鳥枝歯科医院▽岡山県早島町真磯団地入口、富士テックの3か所に設置された。このほか岡山市2か所、倉敷市、高松市、坂出市、山口県宇部市各1か所に設置を予定。自販機は明るいグリーンの色で、協会のロゴ入り。「医療人の育成を通じて日本とミャンマーの懸け橋を築きます」などと、支援の趣旨が書かれている。コカ・コーラウエスト社との協定によると、缶やペットボトル類の販売価格の一部が協会に入る。この自販機をできるだけ多く設置する計画で、会員の皆さんに場所の提供を呼びかけている。設置に伴う管理や電気使用量の負担は両者が責任を持つので、ご協力をよろしくお願ひします。連絡は協会へ。

今年も50万円

岡山県から補助金

岡山県の「岡山発国際貢献活動推進事業補助金」として、協会に50万円助成されることが決まった。ミャンマーから招く医師の研修費用にあてる予定。07年度からほぼ毎年受けており、これで総額は250万円にのぼる。

北海道で講演

岡田茂理事長が7月16日、北海道旭川市十条通の臨済宗興福寺に招かれて、約50人の信者らに講演。ミャンマー独立の父と呼ばれるアウンサン将軍とスーチーさん父娘の日本との関わりなどについて話した。

五輪に思う感謝の気持ち

柔道女子中量級のエイエイマウン選手、アーチェリーのナイ

炎暑にうだつたこの夏は、4年に1度の祭典の夏でもありました。ロンドンに世界各国から若者たちが集い、力強く競技に打ち込む姿は、さほどスポーツに興味がなくとも感動的でした。近代オリンピックの創立者であるクーベルタンの言葉を借りれば「オリンピックは、勝つことではなく参加することこそ意義がある」のです。それは、世界平和の感謝であり、言葉は違ってもスポーツを通じて分かり合えることのすばらしさを私たちに教えてくれます。

も高まつていくでしょう。クーベルタンはこのようにも言っています。「自己を知る、自己を律する、自己に打ち克つ、これこそがアスリートの義務であり、最も大切なことである」。選手たちは、一様にストイックな生活をし、自分を支え応援してくれている人々に感謝し、自分が勝ち上がったことに奢ることなくオリンピックという晴れ舞台に立っており、彼らの苦勞や努力は、それぞれにドラマチックであるに違いありません。

開会セレモニーや入場行進での選手たちの誇りと希望に満ちた表情はとりわけ印象的でした。多くの選手団を送り込む大国もあれば、数人の選手だけが参加する国もあり。そしてミャンマーからも

何か大きな成果を上げるには、人知れず努力や支援が必要なことはスポーツに限りません。世界が平和であること、皆が健康に暮らせることなど、当たり前のことでさえ多くの人々の努力や支援が必要です。私たち協会の活動を地道に支えてくれる幾多の人々のことを思い、改めて感謝したい気持ちでいっぱいです。

広報室から

この10週間の研修の期間にお会いし、私を助けて下さったすべての方たちに再びお会いしたいと思いま

(福山支部長 西山央子)